

令和6年10月9日

## 『大学的福島ガイド』刊行のお知らせ

京都の昭和堂が刊行する「大学的地域ガイド」シリーズの1冊として、『大学的福島ガイドーこだわりの歩き方』が出版されました。法・行政・政治・社会・歴史・文化の幅広い専門性と学際性を特徴とする行政政策学類の19名の教員が執筆しています。福島県内の身近な地域をフィールドに、高校生や一般の方にもわかりやすいかたちで、大学の学びや研究成果を紹介しています。ぜひご一読ください。

昭和堂で刊行している「大学的地域ガイド」シリーズの1冊として、福島大学行政政策学類編・阿部浩一責任編集『大学的福島ガイドーこだわりの歩き方』を上梓いたしました。

本書は、人文・社会科学の諸分野にわたる幅広い専門性を有する行政政策学類の強みを遺憾なく発揮したもので、福島県内の各地をフィールドに、専門的かつ多角的な視点から福島県を捉え、読者を探究の現場へと誘うものです。全体は5部構成で、行政政策学類の19名の教員が執筆しています。

第1部は歴史研究者5名がそれぞれの専門の時代・分野から福島を考察します。第2部では法学の専門家3名が歴史的・国際的視座も交えつつ、法世界を身近に感じさせてくれます。第3部は行政政策学類が得意とするフィールドワークにもとづき、3名が都市・農村・山間部の多様な課題に取り組みます。第4部は東日本大震災・福島第一原発事故の被災地に寄り添いながら課題解決に取り組む4名の成果を収めます。そして第5部は、行政政策学類の特徴の一つでもある文化研究に係る4名の論文を載せます。そのほか、各部に計14本のコラムを配します。

本書は、大学の教育の場での活用を企図しながらも、大学受験を考えている高校生や、福島県に関心のある一般の方にもぜひお読みいただきたいです。報道関係の皆様におかれましては、取材方よろしくお願いたします。

本書の刊行にあたり、令和6年度福島大学基金研究推進事業(学術出版助成:助成番号24FC001)、福島大学行政政策学類後援会及び福島大学行政政策学類同窓会阿武隈会からの助成を得ました。記して感謝申し上げます。

(お問い合わせ先)

行政政策学類教授 阿部 浩一 (責任編集)

電話 : 024-548-8318

メール : [abe@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:abe@adb.fukushima-u.ac.jp)

福島大学定例記者会見 2024年10月9日

# 『大学的福島ガイド』 刊行のお知らせ

阿部 浩一

(行政政策学類・教授)

# 『大学的福島ガイド』

- ▶ 昭和堂「大学的地域ガイドシリーズ」の1冊
- ▶ 後期授業（基盤教育 問題探究科目）にて活用開始



The book cover features a collage of images: a close-up of red persimmons, a large white building, a white mascot character, a traditional Japanese building with autumn trees, a modern glass skyscraper, and a stone gate. The central title box is white with a red border.

大学的  
**福島ガイド**  
——  
こだわりの歩き方

福島大学行政政策学類編  
阿部浩一責任編集

人の数だけ「ふくしま」の姿は存在する。  
そんな「ふくしま」の多様な姿を  
「大学的」に描き出す。

昭和堂

# 『大学的福島ガイド』

- ▶ 行政政策学類の教員19名が新たに執筆する
- ▶ 本文19本、コラム14本を収載する
- ▶ 行政政策学類の強みであり、魅力でもある、人文・社会科学の幅広い専門性と学際性、地域志向の特色を活かす



大学の  
**福島ガイド**  
——  
こだわりの歩き方

福島大学行政政策学類編  
阿部浩一責任編集

人の数だけ「ふくしま」の姿は存在する。  
そんな「ふくしま」の多様な姿を  
「大学的」に描き出す。

昭和堂

# 第1部 歴史から福島を探訪する

- ▶ 菊地芳朗「考古学からみた福島と東北の位置」
- ▶ 阿部浩一「ふくしまの中世を探訪する」
- ▶ 荒木田岳「小野組の残照」
- ▶ 徳竹剛「郡山の近代を歩く」
- ▶ 功刀俊洋「二本松市—歴史と文化のまちづくり」



## 第2部 身近な地域から法を知り、 世界を展望する

- ▶ 金井光生 「日本国憲法の土壌としての  
福島県」
- ▶ 高橋有紀 「松川事件の刑事訴訟法的  
意義」
- ▶ 阪本尚文 「市民の眼差しと地方議会  
の議場構造—福島市議会を歩く」



## 第3部 地域に学び、ともに課題に取り組む

- ▶ 今西一男「中心市街地と郊外住宅地の関係から見る福島の都市計画」
- ▶ 塩谷弘康「福島の水資源開発の光と影」
- ▶ 廣本由香「熱塩加納の地域づくりへの挑戦—小さな地域循環共生圏の可能性」



## 第4部 地域に学び、ともに課題に取り組む

- ▶ 高橋準 「「よせあつめ」としての地域—震災後の「ふくしま」を歩きはじめる前に」
- ▶ 西田奈保子 「いわき市豊間の地域社会—津波被災からの再生プロセス」
- ▶ 岩崎由美子 「農家が主体となった原発事故からの復興の取り組み—二本松市東和地域」
- ▶ 鈴木典夫 「飯舘村の復興と大学」





## 第5部 地域に学び、ともに 課題に取り組む

- ▶ 新藤雄介「福島県の図書館とその歴史をめぐる」
- ▶ 田村奈保子「こことどこかを結ぶ  
—鑑賞と交流の場としての福島県立美術館」
- ▶ 久我和巳「福島県北地域の映画館を歩く」
- ▶ 佐々木康文「データから見る福島県の清酒」



# 『大学的福島ガイド』

- ▶ 大学での教育
- ▶ 福島に関心のある読者一般
- ▶ 高校生、高校の先生
- ▶ 自治体関係者

「行政政策学類」の多彩な魅力を、ぜひ多くの皆様に知っていただきたい



大学の  
**福島ガイド**  
——  
こだわりの歩き方

福島大学行政政策学類編  
阿部浩一責任編集

人の数だけ「ふくしま」の姿は存在する。  
そんな「ふくしま」の多様な姿を  
「大学的」に描き出す。

昭和堂

▶ 謝辞

- ▶ 刊行にあたり、令和6年度福島大学基金研究推進事業（学術出版助成）、福島大学行政政策学類後援会及び福島大学行政政策学類同窓会阿武隈会からの助成を得ました



人の数だけ「ふくしま」の姿は存在する。  
そんな「ふくしま」の多様な姿を  
「大学的」に描き出す。

ご清聴ありがとうございました



人の数だけ「ふくしま」の姿は存在する。  
そんな「ふくしま」の多様な姿を  
「大学的」に描き出す。

昭和堂

10月7日発売

法・行政・政治・社会・歴史・文化の幅広い専門性と学際性を有する福島大学行政政策学類。  
その多彩な視点から福島県の魅力をわかりやすくガイドする。

# 大学的福島ガイド

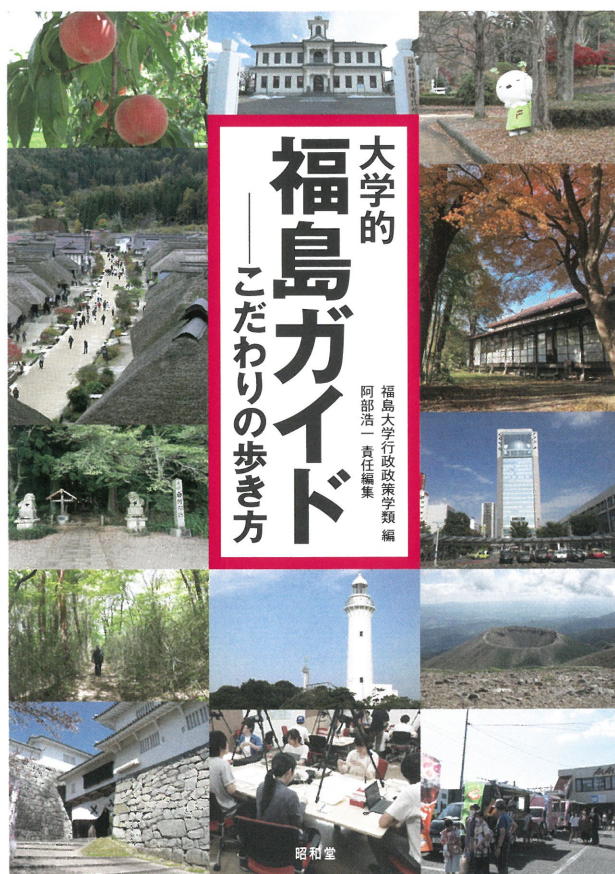
こだわりの歩き方

福島大学行政政策学類 編  
阿部浩一 責任編集

A5判 並製 368頁  
定価 2,640円  
(本体 2,400円+税)

## 目次

- 第1部 歴史から福島を探訪する**  
考古学からみた福島と東北の位置(菊地芳朗)  
ふくしまの中世を探訪する(阿部浩一)  
小野組の残照(荒木田岳)  
郡山の近代を歩く(徳竹剛)  
二本松市—歴史と文化のまちづくり(功刀俊洋)
- 第2部 身近な地域から法を知り、世界を展望する**  
日本国憲法の土壌としての福島県(金井光生)  
松川事件の刑事訴訟法的意義(高橋有紀)  
市民の眼差しと地方議会の議場構造  
—福島市議会を歩く(阪本尚文)
- 第3部 地域に学び、ともに課題に取り組む**  
中心市街地と郊外住宅地の関係から見る福島の都市計画(今西一男)  
福島の水資源開発の光と影(塩谷弘康)  
熱塩加納の地域づくりへの挑戦  
—小さな地域循環共生圏の可能性(廣本由香)
- 第4部 震災・原子力災害の地域に寄り添う**  
「よせあつめ」としての地域—震災後の「ふくしま」を歩きはじめる前に  
(高橋準)  
いわき市豊間の地域社会—津波被災からの再生プロセス(西田奈保子)  
農家が主体となった原発事故からの復興の取り組み  
—二本松市東和地域(岩崎由美子)  
飯舘村の復興と大学(鈴木典夫)
- 第5部 福島を文化から探り、楽しむ**  
福島県の図書館とその歴史をめぐる(新藤雄介)  
こことどこかを結ぶ  
—鑑賞と交流の場としての福島県立美術館(田村奈保子)  
福島県北地域の映画館を歩く(久我和巳)  
データから見る福島県の清酒(佐々木康文)  
ほかコラム多数



お近くの書店様でご予約・ご注文ください。  
ネット書店様でもご予約・ご注文できます。

発行・発売：株式会社昭和堂 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町3-1  
TEL075-502-7500 FAX075-502-7501